

**NN NEST**

# 就労支援センター NEST

「いつか必ず羽ばたく!」をスローガンに安定した就労を目指します。



就労継続支援 A型  
就労継続支援 B型  
就労移行支援  
上記、3事業展開

※サビ管募集中

## NESTの作業

Oリングの組み付け作業



プレス作業



検査作業



クリップ Assy



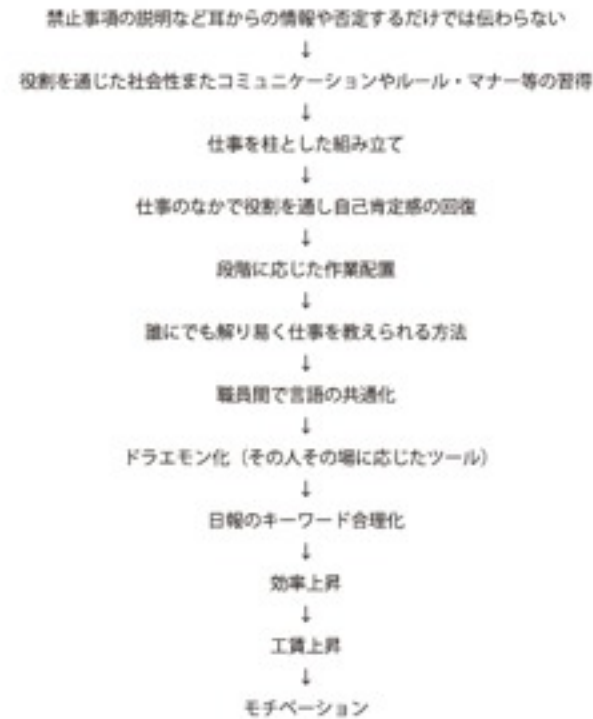
メッキのための吊るし掛け



ウイルスブロッカー製造



発達障害特性に特化した対応取り組みではなく仕事と云う目的を達成するための工夫



# 作業光景 1



## 作業光景 2



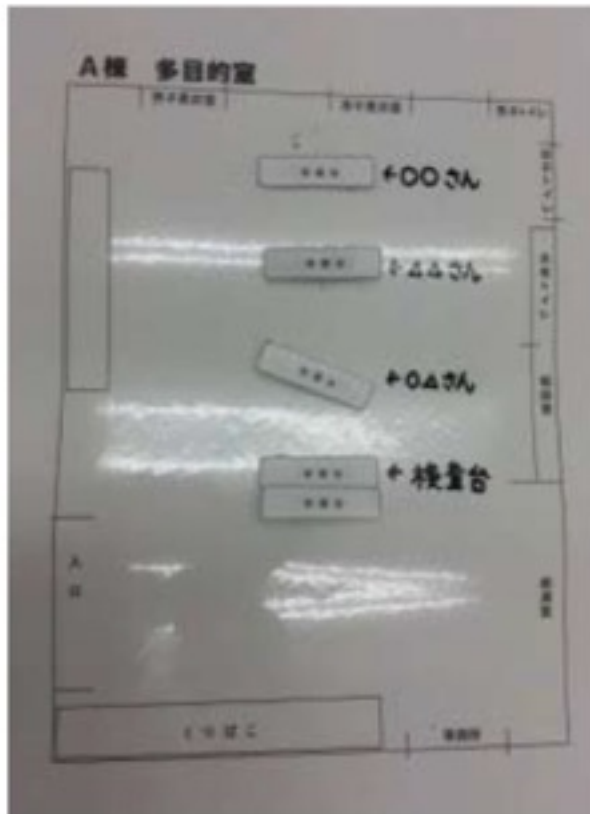
## 作業光景 3



## 支援ツール一覧 仕事を教える目的で作成、従来から使用しているツール

- ◎評価表 ◎企業実習評価表 ◎生活チェック表 ◎忘れ物チェック表 ◎忘れ物累計表
- ◎健康チェック表 ◎訓練日報評価表 ◎ビデオ【自己理解】 ◎比較写真 ◎自己分析表
- ◎自己チェック表 ◎パターン別シュミレーション ◎日課表視覚支援ツール
- ◎スケジュールフローチャート ◎各種手順フローチャート
- ◎チェックリスト記録表のデータ、グラフ最新(自分チェック表・自己理解視覚支援ツール)
- ◎作業工程写真冶具 ◎作業指示書視覚支援ツール ◎品質基準書視覚支援ツール
- ◎作業手順書視覚支援ツール ◎連絡帳 ◎出納簿(5W1Hフォーマット)日報
- ◎工賃獲得日計グラフ ◎通所状況グラフ ◎タイマー ◎通所率グラフ ◎ロールプレイング
- ◎ストレス回避コントロールカード ◎目標進路支援プランフロー
- ◎作業時間等一覧表(作業バラツキグラフ) ◎睡眠時間チェック ◎作業訓練評価表

# 物理的構造化



- どこで誰が何の作業をするか
- どこに何を置くのか



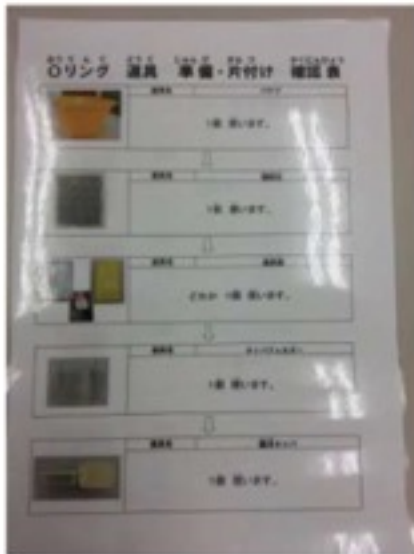
# スケジュール



- 作業配置を時系列
- 視覚的に解り易く
- フローチャート化



## ワークシステム



- 道具の準備は順番をつけて順番どおりに用意する
- 写真と同じ場所から道具を持ってくる
- 指示を待つのではなく自分から準備できる



## 視覚的構造化



- 視覚的に見て伝わりやすいものにする。
- 絵や写真と同じ場所に道具を片付けることができる。



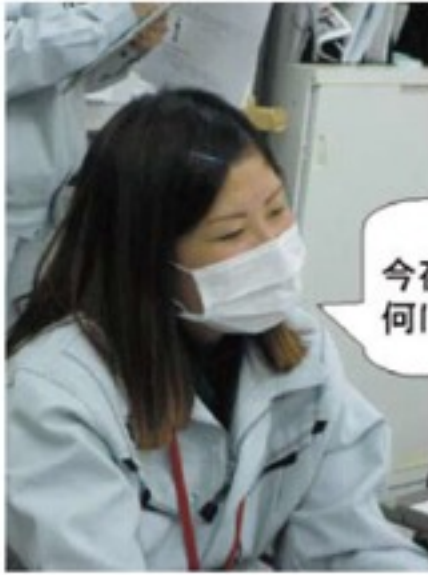
## ワークトレーニングについて

どの対象者にとっても教え込みの知識習得でなく、ワーク実践により大切なソーシャルスキルを体験により納得できる有効なトレーニングだった。

また、発達障害の利用者にとっては、耳から入る情報でなく、視覚に訴えかけられるワークは理解し易かった。

<p style="text-align: center;"><b>効果</b></p>	<p>当事者にとって、行き届いた構造化が図られていたら、違った現状に至ったかもしれないが、それも本人が望まないものであれば、不必要な支援となるわけで、今回のケース事例においては、本人のモチベーション『工賃獲得』に訴えかける、わかり易いツール(工賃獲得表)を使用した支援が有効であったと考察される。</p>
--	--

# SST 表情シート ワークトレーニング



今夜の夕食  
何にしようかな！



パソコンの  
パスワード  
わすれちゃったよ…



アイツ、  
いつもやさしい人  
なのに今日は  
何か悪だくみをして  
いる…  
もしかして、人間  
にばけた未知の  
侵略者か…？



日本の景気は  
あまりよくなって  
ないみたいだなー



## ロープレについて

其々の登場人物となり寸劇を演じることにより、知的障害を伴わない利用者にとっては、配役の気持ちや立場を知り、理解できるきっかけになったが、知的障害を伴う利用者の多くは、演じる事にだけ集中してしまい、配役の気持ちや立場の理解にまでは至らなかった。

また、全ての利用者を対象にグループ編成をして取り組んだことにより、ロープレ後のまとめ内容も効果が薄く、やはり知的障害を伴わない発達障害の利用者に適したトレーニングだという事が検証できた。

同僚 「今日も髪がサラサラできれいだね」

自分 「毎日お風呂でていねいに髪を洗っているし、朝もきちんとブラシでとかしているから」

上司 「〇〇さんはいつも清潔でさわやかですね。会う人に好印象を与えるのは、とてもいいことなんですよ。対人関係がスムーズになりますから」

自分 「不潔だと、みんなに嫌な思いをさせてしまうし、自分も気持ちが悪いです。毎日必ず風呂に入ります」

同僚 「それに、冬はお風呂に入ると、体がポカポカに温まるよね！」

上司 「そうですね。疲れも取れて健康にもいいですね。毎日お風呂に入るのはいいい習慣です。これからも続けてくださいね」

自分 「はい！」

同僚 「はい！」

### 効果

発達障害者を含む多くの利用者に対して大きな効果を認めたが、Hさんへの効果は期待できなかった。

# 報告書

## J S T 報告書

参加者氏名	A, B, C, D, E			実施日	13/09/11 0:00
種 別	9:00~10:00	リーダー	職員 A	報告日	13/09/17 0:00
実施場所	駅前支店センターNEST	コナー	職員 B	承認	
	A棟2階多目的室	報告/記録	職員 A	報告者	
実施内容	台本番号	テーマ			
	23	感情のコントロールができない			

ポイント / 流れ	様子 / 効果
① 説明、表情、声の大きさ、姿勢、態度	最初に、音で協力してやることを説明。Aさん・Bさんのセリア無しのロープしから入り場を回り上げた。結果から外れた結果により、Cさんから自発的な発言が得られた。 (レジで購入された体験談)、テーマが身近であったこと、普段からこのテーマに関心したこと色々な感情があったことから、積極的な発言やその場にそぐわない発言も無く全員参加で出来た。Bさんは、下を向き加減であったが、ちゃんと聞いていたようであった。 職員さんは相手無しの発言が繰り返され、そのたびに改善を実施した。
② J S T の説明	A店からの参加者があるため、いつもより丁寧に説明を実施し→ホワイトボードへスタジールを書き、ルール（発言は手を上げて・人の悪いところはきつくなかない・悪い所は要める）を説明した。
③ 導入 ロールプレイングの実施 テーマ 場面設定 悪い例 良い例	人が並ぶ・行列になることを具体的にホワイトボードへ書き出す（横・縦に並ぶ・行列になる） フジ化学の朝礼。お店のレジで並ぶ。駅前で入込みのように行列になるなどを上げていく。 人間士がぶつかったとき、人はお互いにどのような感じ、どのようなになるのか。 江戸時代 荷が重い歩いていてるところへ馬車がぶつかってしまう 例：職員A 町長：Bさん Bさんが荷にぶつかってしまったが、悪くことが出来ずにうらたえていたので特に怒られてしまう。（笑い） 例：職員A 町長：Bさん Bさんは荷にぶつかってしまったが、悪くことが出来たので許してもらえ怒られずに済んだ。（すみませんと謝る設定）
④ 本日のトピへの導入	ホワイトボードへ同僚Aと目的の言葉関係を書き、自分がぶつかってしまう距離感を具体的に想像させる。職員Aさんからフジ化学の中で実際にぶつかっている場面が挙がった。 (自分もぶつかったことがあり、イラッとしたことがあり想像力になったことがあった) セリアの中にある「向こう」とはどのようなことをさすのか質問した。職員さんから、Aの機を過るとの回答があった。それが、ロールプレイングでどのような結果になるか試してみた。
⑤ 資料配布	悪い例なのに悪い例と入力されていた。（配布の際、少しややこしくなってしまった）
⑥ 目的	自分の感情をコントロール出来る人は、人間関係や職場の雰囲気良くしていきます。
⑦ 場面	同僚Aと目的を述べるうとして、同僚Aにぶつかる
⑧ 登場人物	①自分 ②同僚A ③同僚B
⑨ 悪い例→良い例のロールプレイング	購入された上に、ひどいことを言われた。実際に悪ければいいのと聞いた。性格が悪いと思ったが自分もそのようにしていたと自覚があった ⑩、Cさんは、役にほまる自分という役のセリアを感情を込めて書けることが出来たので、遠力が戻るロープになった。 Cさん本人が自発的の出来たことと発言があり、音から書かれ満足していた。
⑩ 参加者による良い例のロールプレイング	自分役のDさんは、向こうを回るに質問し、フジ化学ではぶつからないように自分が気をつけ、よけてあげることも気づくことが出来た。イライラしないようにしたいとのこと。 Aさんは、同僚Aにはばいばい形で促す。セリアの音量も大きめに出来ていた。
⑪ 意見交換 ホワイトボードへ発表内容を書き出す。	自分役のセリアが書いている場合は、同僚Aが書いているのに、書かれたことで冷静になっていることに気が付いている（穏やかな気持ち）。また、悪くすることをしなくてもいいように最初から向こうを回りばいばいと発言があり、職員さんが発表した「向こう」の書づきが出来た。 まとめとして、人間関係が悪化して、信頼関係が悪くなり、仕事に影響がでることや、周りも不快になるとの実際に配属した意見、書かれたらうれしいとの言葉も発言も聞かれた。
⑫ 動画・画像での振り返り	



# 評価表

## JST 及び SST 実施評価表

平成26年2月20現在  
就労支援センター NEST

評価表示		○ 効果あり	△やや効果あり	× 効果なし	
		改善途中	継続した様子がある	変化なし	
利用者名		JST	SST		
			ロープレ	ワーク	
多行支援利用者	A	程度知的	○	△	△
	B	高機能自閉	×	×	△
	C	知的・自閉	○	○	○
	D	知的・自閉	△	○	△
	E	ADHD	△	△	○
	F	程度知的	○	△	○
	G	知的・自閉	△	×	×
	H	知的	△	△	○
	I	知的・自閉	△	△	○
	J	ADHD	△	△	○
	K	知的	△	△	△
	L	精神	△	△	△
	M	身体	○	○	○
	N	程度知的	○	○	○
O	精神		○		
継続型利用者	a	身体・知的	△	△	○
	b	程度知的	○	○	△
	c	知的	△	△	○
	d	知的・自閉		△	
	e	知的	△	△	△
	f	程度知的	○	○	○
	h	知的・自閉	○	△	△
	i	身体	○	○	○
	j	知的	△	△	○
	k	知的	△	△	○
	l	高機能自閉	△	△	○
	m	知的			△
	n	知的	△	△	○

# NEST 在籍者及び就労者の一覧

就労支援センター NEST 在籍及び就労者

平成26年2月20日現在

就労移行支援								
合計	7A・B・C	ADHD	高機能自閉	軽度知的	知的	身体	高次脳	精神
17	3	2	1	4	3	2	0	2

就労継続A型								
合計	7A・B・C	ADHD	高機能自閉	軽度知的	知的	身体	高次脳	精神
19	0	0	1	5	13	0	0	0

自閉傾向の強い知的障害 拘りが強いところが逆に良い結果として表れた。  
 ケース1・工場全体の清掃を計画的に実施 ケース2・植木の水道りを任せる

就労継続B型								
合計	7A・B・C	ADHD	高機能自閉	軽度知的	知的	身体	高次脳	精神
15	2	0	1	3	6	2	1	0

就労者								
合計	7A・B・C	ADHD	高機能自閉	軽度知的	知的	身体	高次脳	精神
21	2	1	1	9	6	1	1	0
	南佐野健全	南佐野健全	NEST継続A					

## 工賃合計

	23年度	24年度	25年度 (推定)	25年度予測
移行	4,486,335	5,428,237	2,637,159	3,164,591
A型	24,211,739	26,686,781	23,630,860	28,357,032
B型		1,189,535	1,778,647	2,134,376
計	28,698,074	33,304,553	28,046,666	33,655,999

## アスペルガー症候群 Hさん

23歳より現在(27歳)まで当施設利用  
施設利用以前は5年間以上ひきこもり  
10人以上の集団が苦手・聴覚過敏  
利用開始当初は入室さえも困難な状態  
集中して作業に取り組める時間は  
30分～1時間程度であり、頻繁に中座する

## 取組：構造化

---

施設内スケジュール・動線等整備

## 作業環境配慮

---

いつでも退避可能な開口部付近作業位置

本人に入る情報が過多にならないように壁面に向っての作業

## 状況

作業に取り組む事は可能になったが、『いつでも』という状態になる事はなく、日によってむらがあった。また、支援側が提示した支援ツールであっても、本人が個別のツールを嫌がる等の理由から使用拒否されるという事もあった

## 結 果

---

当事者にとって適切であろうと思われる環境設定の目処はたったものの、一事業所の限られた施設・設備、また掛けられる費用・支援者数等の様々な縛りにおいて、当事者個別の構造化を図る事は無理であった。

H25年1月より5月まで、当事者が施設利用の意義を感じられなくなり長期欠席していたが、H25年6月より通所再開し、現在は施設内作業ではなく、施設外にある農園において農作業訓練に従事して、得られる工賃を励みに週に3日通所しており、その際には他の利用者と殆ど同様の時間帯、訓練に従事できている。

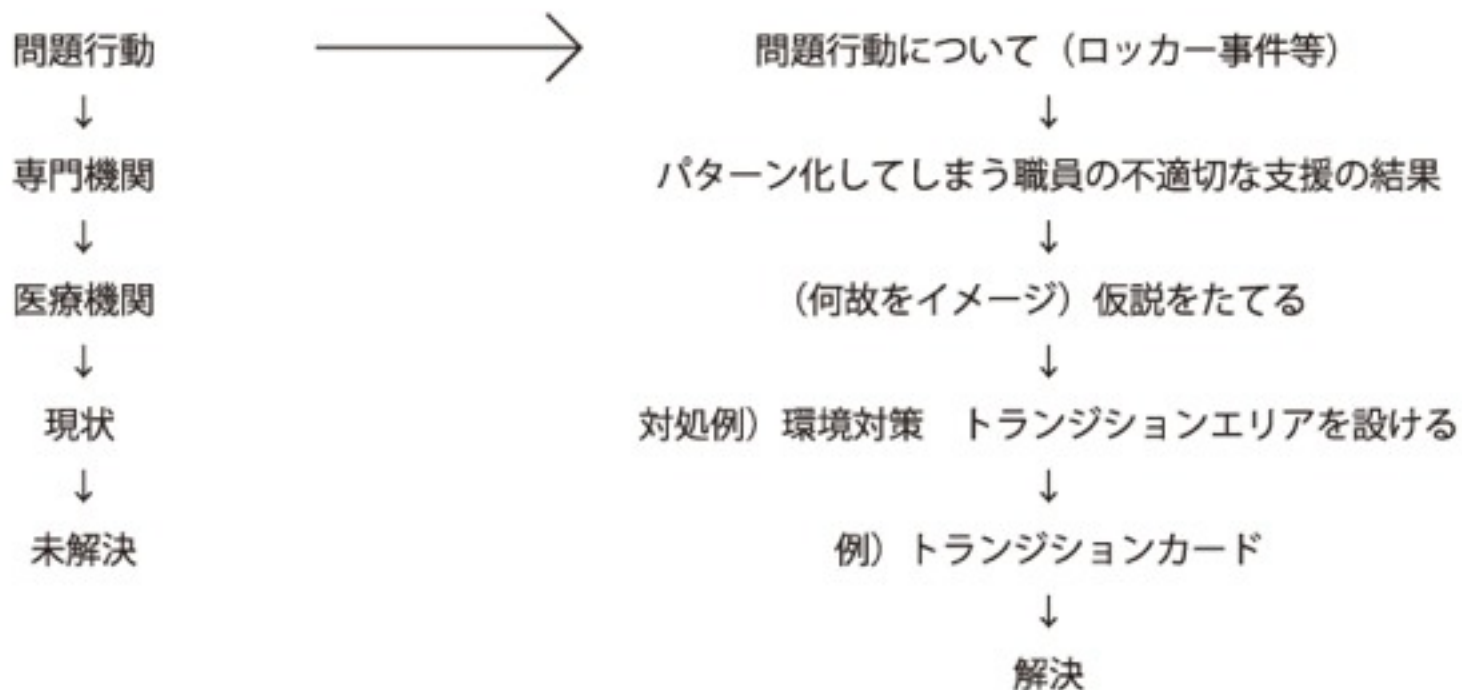
### Hさんのココロ温まるおはなし

---

農作業へ出かける前日の晩、農作業グループの皆さんに焼きたてのお焼きを食べさせてあげたいと云う一心から、おやきに入れる具材の仕込みに深夜までかかり、翌朝その具材を入れた焼きたてのおやきを農作業に間に合わせ皆さんに振る舞う。

## 課題(問題行動への対応について)

---



## まとめ

---

個々の障害特性に応じた支援ツールであり、構造化等の取組みだったはずのものが、結果的には発達障害以外の全ての利用者イコール『誰にでも』有効な手段であった。